



三社託宣の始まりは、鎌倉時代に春日大社の近く、東大寺の東南院の池に不思議なことに託宣が現れたという説話があります。

伊勢神宮の天照皇大神宮、石清水八幡の八幡大菩薩、春日大社の春日大神による託宣が三社託宣であり、戦前までは日本中の床の間に掛けられ大切にされ、人々の生活の中に広く信仰されていました。

三社の神様の教えは、日本人共通の思想として日本文化に染み渡り、日本人そのものの特性ともなり、日本の社会規範に影響を与えました。

『三社託宣図』花山院家厚筆
江戸時代 19世紀

春日大社宮司 花山院 弘 匡 氏

令和六年十月十三日（日曜日）開催 三社託宣の世界〜伊勢・石清水・春日〜

開催日：令和6年10月13日（日）

時間：13時開始（受付は12時半〜）

場所：感謝共生の館

会費：1,000円（当日受付にてお納めください）

*ご参加の方は公共交通機関（バス・電車）をご利用ください。
お車でお越しの場合は、別途駐車料金（¥1500）が必要です。
*当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

▼お申し込みはハガキ・FAX / お問い合わせはお電話で▼

TEL 0742-22-7788 FAX 0742-27-2114

春日大社の最新情報は

<https://www.kasugataisha.or.jp> を check !

<当日の予定>

受付 12:30
講演 13:00
本殿参拝 14:30

